

平成22年度 地域活性化事業交付金 交付決定事業実績 【大野北地区】

平成23年3月31日現在

団体名	事業等の名称	事業の実績の概要				交付決定 年月日	交付金額 (単位:円)
		事業の目的	事業の実績	事業の成果	自己評価		
大野北地域誌刊行委員会	地区の歴史、景観、年中行事等を編纂した地域誌の編集・発行	地域誌を発行することにより、地域住民に対し地域を知り、愛着心をもってもらい、地域のまちづくりに資する。また、小中学校の副読本等に活用し、ふるさと意識の醸成を図る。	大野北地区の地勢、変遷の概要、地域の動向、年表、人口の動き、学校等公共施設の変動、地域25地点の今昔写真(説明)、地域図、史跡・民話紹介、地域で開催されている祭などを盛り込んだ「まちづくりのための大野北地域誌」を発行し、地区の各種団体、公共施設、小中学校・高校・大学等に配布した。 ●冊子頁数…80ページ ●発行部数…520部発行 ●その他電子データファイル100枚	「まちづくりのための大野北地域誌」に大野北地区の地勢、変遷の概要、地域の動向、年表、人口の動き、学校等公共施設の変動、地域25地点の今昔写真(説明)、地域図、史跡・民話紹介、地域で開催されている祭などを盛り込んだことにより、地域のまちづくりを考える上での素材となるほか、小中学校の副読本等にも活用されることにより、地区のまちづくりに寄与する事ができた。	平成22年5月より準備を開始し、編集委員10名による、20回にわたる作業の結果、本誌が発行できた。掲載項目が不足するなど、まだ課題はあるが、暑い日も、寒い日も熱心に話し合い、編集委員が一丸となってようやく完成地域紙を発行する事ができた。 この「まちづくりのための大野北地域誌」は、まさに編集委員の地域への熱い思いの結晶であると思っている。	H22.6.25	900,000
地域を繋ぐ『ふちのべ銀河まつり』実行委員会	地域内の団体やサークルによる音楽やダンスの発表等	地域の参加団体を構成メンバーとする実行員会を組織し、団体間の交流を図る中で、地域の一体感を創出し、地域の活性化、文化の向上を図る。	8月7日(土)・8日(日)両日合せての来場者は、延べ2万人くらいと推定される。しかし、近年にない猛暑のため、来場者の滞在時間は例年より短いようであった。そのせいで、飲食の販売が少なかったようである。 活性化事業の補助のおかげで、プロも驚くようなすばらしいステージを組むことができたので、一般の出演者は感激していた。地域の子どものヒップホップ系のダンスは盛り上がり、出演者も保護者も喜んでた。また、地域の中学校の吹奏楽部も力が入った演奏ができたようである。相模原ライズのチャー、その他地域の各種団体も張り切った演技を披露いただいた。	今回の銀河まつりは、地域の参加者を中心にイベントを組み立てた。新たな取組みして、参加者とともにイベント進行を行ったが、初めてのこともあり、上手くできなかった面もあった。しかしながら、地域の参加者が積極的に関わることにより、従来とは異なり、経費面や自ら作り上げて行かなくてはならないことがわかってもらっただけでも、今回の活性化事業の大きな成果であると考えている。 各種事業は、様々な人が関わり、助け合って成り立っていることを理解できる人が増えたことが、大きな事業効果ではないかと考えている。	事業の組立てに、まだまだ地域を巻き込むことができなかったことを反省している。しかし、今までと違って、地域の参加者の参画を得たことは、正直大変ではあるが、新しい感覚で事業展開できたものと認識している。 今後、大野北地区を代表するイベントへ発展させていくことができるよう努力していきたい。	H22.6.25	1,000,000
自治会法人淵野辺自治会活性化委員会	自治会活動活性化事業	地域の子どもたちが各種事業に参加することを促し、地域活動の楽しさ、地域コミュニティの大切さを理解してもらおうとともに、子どもたちの参加により、自治会未加入者にも自治会活動を理解してもらえる機会とする。こうした事業の実施により、幅広い年齢層の誰もが参加できる自治会活動を展開し、地域の活性化を図る。	7月の防災&デイキャンプでは、会員有志の協力により、子どもたちが空き缶を利用した飯炊きを行い、カレーライスにして食した。 10月のゲートボール大会では、ふだん行事に参加しない高齢者に対し、子どもたちが手作りの招待状を作成し、ゲートボールを楽しみ、弁当を食べながら楽しいひと時を過ごした。 1月のもちつき大会では、40kgのもち米を、杵と臼を使って餅をつくという貴重な体験を味わうことができた。	子どもと高齢者、有志の成人同士が、各イベントを通じて、今までにない地域交流ができたものと感じている。 また、会員以外の方からも、「ぜひ自治会に加入したい。」という申し出があり、平成23年度は4～5世帯が新規加入する予定である。	活性化委員会が、地域活性化事業交付金を活用したイベントを企画・運営したことにより、平成22年度の自治会活動に大きく貢献し、自治会員の皆さんに大変喜ばれる結果となった。 そうした成果を収めたことは、自負できるものと考えている。	H22.6.25	105,000

団体名	事業等の名称	事業実績の概要				交付決定 年月日	交付金額 (単位:円)
		事業の目的	事業の実績	事業の成果	自己評価		
大野北地区コミュニティバス検討委員会	大野北地区コミュニティバス導入検討事業	運行ルートの検討や住民利用意向の把握に取り組み、運行実現の可能性を検証することにより、交通不便地区を解消し、高齢者などの移動制約者の生活交通の確保を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 7月13日 視察(大沢地区コミュニティバス「せせらぎ号」) ・ 7月13日 第5回検討委員会(ルート案について検討) ・ 9月30日 第6回検討委員会(今後の方向性について検討) ・ 10月15日 導入検討に係る関係自治会長への説明会 ・ 12月中旬 ルート案沿線住民に対するアンケート調査 ・ 3月28日 第7回検討委員会 ※震災による影響のため中止	先行事例(せせらぎ号)の視察や、市の担当課からの資料提供などにより、効果的・効率的な議論を展開することができた。 そうした調査・研究や検討の結果を受け、本年度は、ルート案の沿線住民に対するアンケート調査を実施する段階まで至った。	市の担当課の協力をいただきながら、大野北地区におけるコミュニティバスの導入に向けた検討を進めているが、走行ルートやバス停位置の設定などの点において、沿線地区の実情を踏まえたきめ細かな議論が展開できた。 今後は、アンケート調査の結果を踏まえ、実現の可能性について、さらなる議論を重ねていきたいと考えている。	H22.6.25	28,000
淵野辺・矢部盆栽会	地域盆栽講習会事業	会員が、地域におけるボランティア的な活動として盆栽のメンテナンスを行うことを通じ、地域住民間のコミュニティ形成を図る。	公民館まつり及び地区市民まつりにおいて、地域住民が所有している盆栽の剪定や花木の植替えなど、適切な手入れの方法等について指導を行った。また、月2回程度、公民館において講習会を行った。 ・大野北公民館まつり(7月3日・4日)…参加者60名 ・大野北市民まつり(9月5日)…参加者20名	指導を受けた参加者から、大変喜んでいただき、今後も続けてほしいとの声が寄せられている。	活動を通じて、地域の方々に喜ばれていることがわかり、微力ながら地域への貢献ができているものと考えている。 また、好評を得ていることで、活動に対する会員の意欲も高まっている。	H22.6.25	46,000
東町自治会	協働地域清掃活動事業	地域住民と学生の協働による取り組みを通じ、コミュニティの形成・拡大を図る。	東町自治会会員と青山学院大学学生との協働による地域清掃を、8月8日及び12月5日に実施した。 また、交付金の交付決定を受ける前にも1回実施しており、平成22年度は合計3回の清掃活動を行った。参加者の延べ人数も450名を超え、当初の予想を上回る結果となった。	清掃の対象地域を4ブロックに分け、それぞれの地区を学生と自治会員の混成で行ったが、活動の様子を見て、途中から飛び入り参加する住人もおり、地域美化を啓発する効果もあったようである。 清掃活動を通じた学生と自治会員との交流も大変有用であった。	参加者が多く、活動後の飲料費等が、当初の予算を上回る状況であったが、次年度以降も継続する価値のある事業であると考えている。	H22.6.25	128,000
大野北地区交通安全母の会	地域交通安全普及啓発事業	地域での積極的な交通安全啓発活動を通じて、子どもや母親などに交通规则を正しく理解してもらうことにより、登下校などの外出時における悲惨な交通事故の発生防止に寄与する。	次のイベントにおいて、交通安全の普及啓発活動を行った。 ・大野北地区市民まつり 9月5日(日) 大野北中学校 ・交通安全ゲートボール大会 ・大野北ふれあいフェスタ 3月6日(日) 大野北公民館	市民まつり及びふれあいフェスタにおいて、啓発物品として下敷きとハンカチを配布し、交通安全に対する意識の高揚を図った。これに伴って、市民まつりでは交通遺児募金が増えた(約25,000円)。 また、ふれあいフェスタでは、入場者が大幅にアップした(約210名)。 ゲートボール大会においては、新しい『のぼり』を立て、高齢者に対する啓発活動を行った。	大野北地区独自の『のぼり』があることで、大野北地区交通安全母の会として、地域の皆さんに大いにアピールできるものと考えている。 啓発物品については、これまでは予算がなく、やり繰りに苦慮していたが、今回、購入できたことで、大変役立てることができた。子どもたちが、物品に描かれた絵を見ながら、交通安全標識等を意識し、交通事故防止につながることを望んでいる。	H22.8.19	100,000

